

おおたわら 社協だより

Ohtawara Shakyo Dayori

2021
4月号

発行所 大田原市本町1-3-1
大田原市役所A別館1階
社会福祉法人
大田原市社会福祉協議会
発行人 会長 津久井 富雄
発行日 令和3年4月1日
印刷所 (株)近代工房

(第227号)

あれから10年…



——あなたは日頃からどんな事ができますか。

平成23年3月11日。東北地方を中心に未曾有の災厄をもたらした東日本大震災が発生しました。大田原市においても震度6強を観測し、家屋が損壊するなど大きな被害を受けました。市災害ボランティアセンターでは被災者の困りごとをお伺いし、8ヶ月の間、市内外から駆けつけた災害ボランティアによる支援を実施しました。

目次

- P1 …… あれから10年…
- P2 …… 大田原市災害ボランティアの10年
- P3 …… 寄付報告
市社協会員加入のお願い
セブン-イレブン様からのご寄付
- P4 …… ささえ愛おおたわら助け合い事業
安心生活見守り事業
- P5 …… いいもんめ〜つけた！
第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画
- P6 …… シトラスリボンフラッグ

- P7 …… フードバンクで協力のお願い
あすてらす
市社協カレンダー

裏面からボランティア情報紙「だいすき」

- P1 …… ボランティア団体紹介
『仲町ほほえみセンター和の家』
- P2 …… ボランティア活動はじめませんか
令和3年度ボランティア活動保険受付中

大田原市 災害ボランティアの10年

～東日本大震災の経験を経て～



平成24年2月

講座「みんなでつくる災害ボランティアセンター！」

東日本大震災の経験を踏まえ、県社協の経験豊富な職員を講師に、ボランティアセンターの運営訓練を実施しました。

役割と支援について学んだあと、運営役とボラ役に別れ、各々の立場で工夫しながらセンター運営を体験しました。



平成24年

災害ボランティアセンター

運営連絡会の設立

市内の様々な団体が、日頃から情報交換を行い、つながりを強めておくことで、様々なニーズが同時多発的に発生する災害において円滑な支援活動をするための組織です。

有事の際は、連絡会のメンバーが中心となって、災害ボランティアセンターを協働で運営します。

☆心強い連絡会のメンバー

市民生委員児童委員連絡協議会

国際医療福祉大学IUHWボランティアセンター

那須野ヶ原青年会議所

市ボランティア連絡協議会

市危機管理課・福祉課・市社協

平成26年

平成26年

講座「東日本大震災を振り返る」

大船渡市社協の伊藤主査、関東風組の小林様を講師にお迎えし、震災で培ったセンター運営と、現場

コーディネートの経験をお話いただきました。日頃の顔の見える関係やつながりが、災害時にとても大きな支え合いの力になることを伝えていただきました。



平成27年

平成27年9月関東・東北豪雨

9月10日、台風18号により発達した温帯低気圧の影響で、関東及び東北地方で記録的な豪雨となりました。

特に被害の大きかった茨城県常総市へ、ボランティアバスを運行しました。土砂が流れ込んだ庭の後片付けや、浸水した家屋の掃除など、被災地に思いを届けました。



平成28年

平成28年10月

講座「災害ボラセンの主役はあなたです！」

認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク(以下Vネット)の矢野事務局長を講師に、被災想定を元にしたオリジナルの災害ボランティアセンターをみんなで発想豊かに考えました。被災したとき、地元のボランティアがー丸となって運営することの大切さを学びました。



平成29年

平成29年栃木県・大田原市総合防災訓練

防災訓練の中で、市社協は本番さながらの災害ボラセンを設置し、受付から被災者宅への送り出しまでシ

ミュレートしました。また、前年の豪雨で被害を受けた鹿沼市の災害支援グループ「チームかぬま」の山ノ井様をお招きし、被災者ケアの重要性を説明いただきました。



平成30年

令和元年東日本台風

令和元年10月12日、台風19号により大きな被害がありました。地元の見守り隊、青年会議所、登録ボランティアが、被災地域の家屋の片付けや、浸水により使えなくなった家財道具の運搬などを行いました。また、被害の大きかった佐野市へボランティアバスを運行し、市内ボランティア有志による泥出しなどの支援を行いました。



令和元年

平成30年10月

講座「そのとき!あなたは、何ができますか？」

とちぎVネットの柴田災害担当理事を講師に、発災時に地元住民だからこそその強みや、持てる視点に気がつくことを目標に、被災想定を元にしたグループワークを行いました。

それぞれの能力をどのように支援に活かせるのか考え、当事者意識をもって考えられる力を育みました。

災害にも強い地域を目指して、これからも。

災害の支援活動には、地域での助け合いが欠かせません。日頃から顔の見える関係を作っておくこと、災害について学んでおくこと、それらが大きな減災力となって、いざというときの助け合いにつながります。

市社協では、これからも講座を通して学び合いや仲間づくりの機会を作ったり、また、発災時の助け合いを支援したりしていきます。

寄付報告

令和3年1月16日から令和3年3月15日までに、社会福祉のために寄せいただいた寄付の報告です。皆様の温かい善意に心より感謝申し上げます。

◆大田原市社会福祉協議会寄付

- ♥黒羽商工会青年部 様 43,542円
- ♥匿名 10,000円

◆大田原市善意銀行寄付

- ♥株式会社四季 代表取締役 藤田善幸 様
..... サーモカメラ1台
- ♥株式会社 ダイナム栃木大田原店 石川博真 様
..... 食料品、日用品

◆大田原市地域福祉基金寄付

- ♥日本キリスト教団 西那須野教会 様
..... 10,000円



株式会社ダイナム栃木大田原店 石川 博真 様



株式会社四季 藤田 善幸 様 屋代 一幸 様
(写真撮影の時のみマスクを外しています)

寄付でつながる 想いと絆

セブン-イレブン様よりご寄付いただきました！

昨年から新型コロナウイルス感染症拡大の影響もあり、収入が減少し日常生活を維持することが困難な世帯が増えていきます。
栃木県社会福祉協議会と協定を締結している(株)セブン-イレブン・ジャパン様を通して、市内の移転された店舗様より、食料品や生活用品など、ダンボール78箱分のご寄付がありました。
ご寄付いただいた品物は、市社協とフードバンク県北でお預かりし、生活に困窮されている方の支援に活用させていただきます。



寄付していただいた品物と、フードバンク県北の皆さん

大田原市社会福祉協議会 会員加入のお願い

身近な地域福祉推進のため、令和3年度会員への参加をお願いします。

大田原市社会福祉協議会の会員とは

- ◎普通会員（1世帯あたり年会費500円）
☆5月に自治会単位で加入をお願いします。
☆自治会未加入の方で、社協へ加入していただける方はお手数でも、事務局へご連絡ください。
- ◎特別会員（年会費、1口1,000円）
☆6月に会社、事業所、商店、篤志家の皆様に郵便で、加入依頼をいたします。
- ◎賛助会員（年会費、1口5,000円）
☆6月に社会福祉施設などに郵便で加入依頼をいたします。

会費の使いみち

- ⑤だんの ④らしの ③あわせのための活動に使用します
- ◎市内12地区の地区社会福祉協議会活動費
- ◎市内172名の福祉委員活動の支援
- ◎社協だより、社協ホームページの作成
- ◎福祉講座、ボランティア講座の開催
- など

市民の皆様からお寄せいただいた会費は、地域の福祉活動に活用させていただきます。

本年度もぜひ多くの皆様が会員になってくださいますよう、ご理解とご協力をお願いいたします。
(会員加入は年間を通して受け付けしています。)

生活支援コーディネーター(SC)の活動紹介 その③

「ささえ愛おたわら 助け合い事業」 (生活支援体制整備事業)

「慣れ親しんだ地域で、生きがいをもって幸せに生活する。」多くの人が望んでいることですが、そのような地域の実現のためには、地域のつながりづくりが必要です。

「ささえ愛おたわら 助け合い事業(生活支援体制整備事業)」では、各地区の生活支援コーディネーター(SC)が、支え合いの地域づくりのため、日々奮闘しています。

今回は、川西地区の活動をご紹介します。

※大田原市では、各地区の見守り隊(会)主任が、地区の生活支援コーディネーターを兼任しています。

一人ひとりが主役の地域づくり

少子高齢化、人口減少、空き家の増加など、地域には様々な課題が点在しています。

川西地区も例外ではありませんが、旧川西中学校を利用し、地域住民が自由に集まり、気軽におしゃべりをして交流する「おやまだいおひさまカフェ」のような居場所活動を活発に行う

など、地域の人たちが安心して、生きがいをもって生活していけるよう取り組みを進めています。



楽しくおしゃべり(居場所活動の様子)

地域の皆さんへ

集いの場に参加することで元気になる、集まることで地域がつながる。つながる地域がまちを変えます。知恵を出し合い、私たちの手で良いまちにしていきましょう。



川西地区SC
郡司 照江

大田原市では、だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるような支援体制の整備と充実を目指し、12地区の見守り組織、市と市社協、地域包括支援センター、協力関係機関と連携し、地域ぐるみで、主に地域による支援が必要な高齢者等を対象に、『安心生活見守り事業』(地域大家族制度)と『ささえ愛おたわら 助け合い事業』(生活支援体制整備事業)に取り組んでいます。

地域みなさん、いつもありがとうございます。

見守り隊員が異変に気付き、 高齢者の命を救った事例

ひとり暮らし高齢者に、地区社協のボランティア(見守り隊員)がお弁当を届けたところ、いつもは待っていてくれるのに、その日は珍しく留守で、気になってその後も何度か訪問するも返答がなく、「これはおかしい!」と思い、親類に連絡しました。結果、家の中で倒れていた当事者が見つかり救急搬送され、一命をとりとめることができました。

コロナ禍でも工夫して 見守っています!

令和2年は新型コロナ感染防止のため、人と人の距離を保ち、大勢の人が集まることを自粛してきました。

地域では、高齢者が孤立しないよう、地域とつながっている実感がもてるよう、感染対策を徹底しての活動や、電話や外からの見守りなど、工夫をして見守っています。



気にかけてあって、声かけあって

大切な地域のつながり

安心生活見守り事業

紫塚地区

いいもんめくつけた！

『つながっている』安心感をみんなでつくる

紫塚ニュータウン自治会

紫塚ニュータウン自治会では、住み慣れた地域で安心して暮らせる地域づくりを目指し、ボランティア団体べっぴんサークルを中心に、子どもから高齢の方まで地域のつながりづくりに取り組んでいます。

ちよつとした思いやりや、寄り添う気持ち、ちよつとしたおせっかいで、心やかな近所とのかかわりが生まれます。

令和2年度はコロナ禍で集まりがもてず、人と人が出会う機会が少なくなり、特に高齢の方が孤立してしまうことが心配でした。みんなでアイディアを出し合い、7月にはシトラスリボンと炭酸まんじゅうを、12月にはサンタに扮してクリスマスプレゼントを、「地域のひととつながっている」という安心感をもってもらえたら...」という願いを込めて届けました。シトラスリボンづくり等には、子ども達や高校生も交え、体験を通じてつながりの大切さを伝えています。

※シトラスリボンプロジェクト

新型コロナウイルス感染者への差別や偏見をなくす運動

「楽しみに待ってたよ〜！」



「ありがとね〜」



シトラスリボンづくり
〜心を込めて〜

第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画

住んで良かったと思えるまちに！

○取組状況調査を実施

地域の皆さんと一緒に考えた「第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画」は、令和元年度から5年度を推進期間としています。今年度は推進2年目に当たり、計画の進捗状況を確認する「取組状況調査」を8月に実施しました。

この調査では、6つの基本目標について、「住民」「施設・団体」「市社協」「市」がそれぞれに現在の進捗状況を評価し、目標を達成するために工夫していること、課題と感じていることなど、たくさんのご意見をいただきました。調査にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

○地域福祉計画・地域福祉活動計画推進員会を当面開催



おたがいを
おもいやり
たのしく
わらって暮らせるまち
大田原

2月に予定していました推進委員会が、新型コロナウイルスの影響により書面開催となりました。取組状況調査について、30名の委員さんからコメントをいただきました。結果と推進委員会での意見については今後社協だよりでお知らせしていきます。

おかえり ただいま と言えるまち

差別のない地域 コロナと戦う全ての人に感謝を忘れずに

シトラスリボンフラッグが大田原に！

新型コロナウイルスに関係する差別をなくそうとするシトラスリボンプロジェクト。シトラスリボンフラッグが啓発を呼びかけながら県内の市町を回っています。二月十六日(火)から二十六日(金)まで、大田原市役所に掲示されました。

たくさんの方が届けられました

市内でシトラスリボン活動を行っている方より、市に千個、市社協に五百個のリボンが寄付されました。リボンは市の窓口や、市社協を訪れた地域の方に届けられました。



市社協の主な行事・心配ごと相談日

日	月	火	水	木	金	土
				4/1	2	3
					★心配ごと 9時～12時	
4	5	6	7	8	9	10
			湯 心配ごと 13時～16時		★心配ごと 9時～12時	野崎地区居場所活動 9時30分～11時30分
11	12	13	14	15	16	17
			両郷地区居場所活動 13時30分～15時30分 金田地区おもいや り隊チーム会議 16時～17時	黒 心配ごと 13時～16時	★心配ごと 9時～12時	野崎地区居場所活動 9時30分～11時30分
18	19	20	21	22	23	24
		金田地区おもいや り隊新旧隊長会議 19時～20時			★心配ごと 9時～12時 おやまだいおひ さまカフェ 10時～15時	
25	26	27	28	29	30	5/1
	ちかその思いや り隊チーム会議 18時30分～20時		紫塚地区見守り 隊新旧隊長会議 13時30分～15時	昭和の日	★心配ごと 9時～12時	
2	3	4	5	6	7	8
	憲法記念日	みどりの日	こどもの日		★心配ごと 9時～12時 ちかその思いや り隊隊長会議 19時～20時	
9	10	11	12	13	14	15
			湯 心配ごと 13時～16時 両郷地区居場所活動 13時30分～15時30分 金田地区協議 会・小地域福祉 活動計画会議 19時～21時		★心配ごと 9時～12時 東部地区協議 会・チーム会議 13時30分～15時30分	
16	17	18	19	20	21	22
			黒 心配ごと 9時～12時		★心配ごと 9時～12時 紫塚地区協議 会 19時～20時30分	
23	24	25	26	27	28	29
		金田地区おもいや り隊推進会議 19時～20時30分		東部地区見守り 隊隊長会議 14時30分～16時	★心配ごと 9時～12時 おやまだいおひ さまカフェ 10時～15時 市社協理事会 13時30分～15時30分 ちかその思いや り隊認知症学習 講座 18時30分～20時30分 紫塚地区見守り 隊推進会議 19時～20時30分	
30	31	6/1	2	3	4	5
			湯 心配ごと 13時～16時		★心配ごと 9時～12時	
6	7	8	9	10	11	12
			両郷地区居場所活動 13時30分～15時30分		★心配ごと 9時～12時 市社協評議員会 10時～12時	

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、予定が変更される場合があります。事前にお問合せください。

★心配ごと相談 ※民生委員児童委員が相談に応じます。秘密は守られます。

地 区	会 場	連絡先
★ 大田原	市役所A別館1階	23-1130
湯 湯津上	佐良士多目的交流センター	98-3715
黒 黒 羽	市社協黒羽支所	54-1849

ありがとう、たすけあいの心

～ご協力をお願いします!!～

★フードバンクにご協力ください!

お中元やお歳暮でもらったけど食べずに戸棚にしまい忘れていた食品(未開封で賞味期限が1か月以上)はありませんか?

捨てずに『フードバンク』に寄付してください。

◎寄付できる食品例

お米・乾麺(うどん・そば・パスタ)・インスタント食品・レトルト食品・粉ミルク・離乳食・調味料・食用油・のり・ふりかけ・お茶漬け・ジュース・水・コーヒー・お茶など

◎食品の寄付先

①とちぎVネット 県北支部

☎0287-48-6000

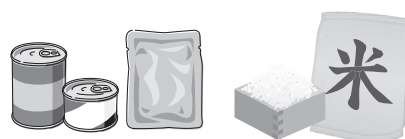
②市社会福祉協議会 本所 自立相談係

☎0287-23-1130

◎お問合せ先

市社会福祉協議会 自立相談係

☎0287-23-1130



あすてらす

あすてらす(日常生活自立支援事業)とは・・・認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者に対し、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの援助を行うことにより、在宅での自立した生活を支援します。

市社協(基幹社協)に配置された専門員が利用者の相談に応じるとともに、利用者ごとに適切な援助内容を定め、生活支援員が利用者ごとに直接援助を行います。

○支援サービスの内容

- ・福祉サービスの利用援助
- ・日常的な金銭管理サービス
- ・書類等預かりサービス

保管できる書類

- 1 年金証書
- 2 貯金通帳
- 3 権利証
- 4 契約書類
- 5 保険証
- 6 実印・銀行印

※預かることができないもの

宝石、書画、骨董品、貴重品、株券、小切手など

あすてらすおたわら ☎0287-23-7375



★ボランティア相談

「ボランティア活動したい」「ボランティア活動して欲しい」などの相談に市社協職員が応じます。

●月～金曜日 午前9時～午後5時

●場所：市社協本所

※人権相談・行政相談については、市広報誌・「大田原市ホームページ」(<http://www.city.ontawara.toc.higi.jp/>)をご覧ください。

目指せ!!

地域で共に生きる社会!

ボランティア活動始めませんか?



自発性

共感を基盤に
自ら進んでする
活動です。

公益性

自分の利益のために
するものではありません。
みんな(社会)
のための活動です。

非営利性

お金儲けのための
活動では
ありません。

継続性

ふだんのくらしのし
あわせのため、気が
向いた時だけではなく
継続していくことが
大切です

先駆性

よりよい活動を目
指して、いつも
学ぼうとする
姿勢が大切です。

ボランティアは自発的な意思に基づき、人や社会のために貢献する活動です。それぞれが「得意なこと」「好きなこと」「できること」を活かして、身近な地域や環境のために進んで活動することがボランティアです。



こども食堂



ひとり暮らし高齢者へのお弁当配布



災害ボランティア



ひとり歩き者への声かけ訓練

※上記以外にもたくさんの活動があります。新しく活動を始めるとても大歓迎です。



地域は**若い世代の力**を必要としています。
何かできるかな?と感じたら市社協にご連絡ください。



令和3年度分

ボランティア活動保険を受付しています。

ボランティア活動中のケガや、他人に損害を与えたことによる賠償金の支払いなどをカバーしてくれる保険です。市社協の本所、各支所で加入できます。

安心して活動するために、保険への加入をおすすめします。

※ボランティア活動保険の申込時に市社協へのボランティア登録をお願いします。

ボランティア保険の種類

- ・ボランティア活動保険
- ・ボランティア行事用保険
- ・送迎サービス補償
- ・福祉サービス総合補償

ボランティア
情報紙だい
す
き

ボランティア
募集情報は、
市社協ホーム
ページのブロ
グに掲載して
います。

ボランティア
紹介コーナー

仲町ほほえみセンター
和の家
なごみ
いえ

人とつながる/地域とつながる/笑って延ばす健康寿命

1月の緊急事態宣言を受け、長らくお休みをしていましたが、3月から感染対策をしながらの活動再開となりました。

ボランティアさんは会員の昼食の用意や、活動のサポートをするなどして、会員の「つながり」を支えています。コロナ禍ということもあり、午前中までの活動となっていますが、この日集まった会員は、「再開が待ち遠しかった」と言いながら、おしゃべりとスライドカーリングを楽しんでいました。

センターに来ることで人とつながれるということが会員の楽しみになっており、それを支えるボランティアはとても大切な役割を担っています。

仲町ほほえみセンター和の家は、毎週月・水・金に開設し、脳トレや運動を行い、みんなの笑顔で健康寿命を延ばしています。



スライドカーリング表彰式の様子。
1位の人もビリの人も、みんないっしょにおめでとう♡

大田原市社会福祉協議会は、みんなのふだんのくらしのしあわせを応援しています！

【本所】

本町1-3-1 市役所A別館1階
☎ 23-1130
☎ 24-0294
FAX 23-1138



あすてらす
おおたわら
☎ 23-7375

【湯津上支所】

佐良土 853
佐良土多目的交流センター内
☎ 98-3715
FAX 98-8011

【黒羽支所】

黒羽田町 848
☎ 54-1849
FAX 54-2745



大田原市
社会福祉協議会
介護事業所